平成 22(2010) 年 11 月 20 日
No.2

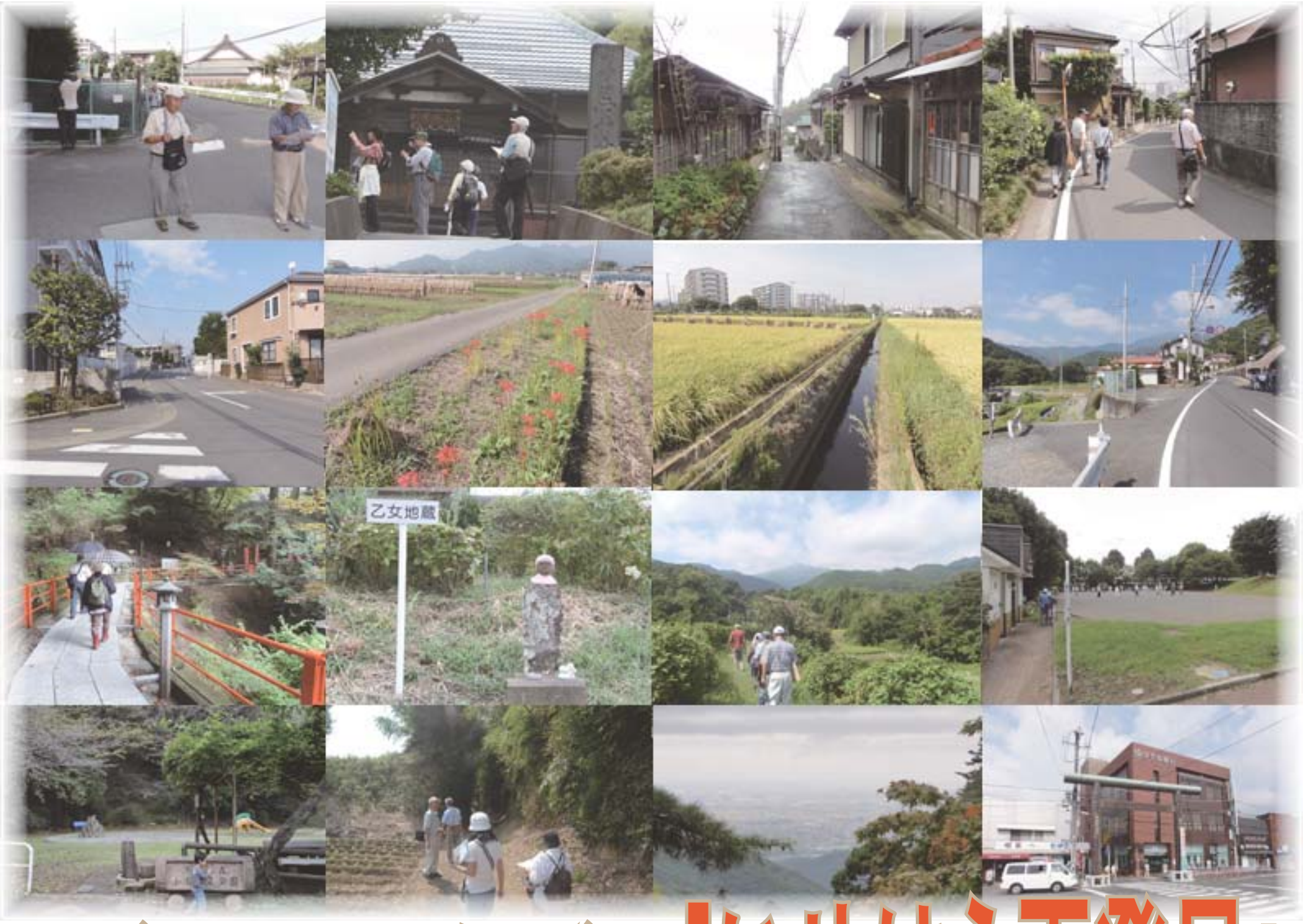
いせはら景観まちづくり 市民ワークショップ通信

発行 / 伊勢原市
編集 / 都市部都市総務課
TEL94 - 4711(代)

市ホームページから
伊勢原景観まちづくり
検索
活動の内容は市ホームページからもご覧になれます

おもな記事　２面・・・「景観まちづくり市民ワークショップ」開催の背景とその目的について

発行部数 /100 部



つづける　つなげる「いせはら再発見」

伊勢原は、
自然が多い。
歴史が身近に感じられる。

これは、ワークショップ通信第1号の書き出しです。

この伊勢原の特徴は、今回、ワークショップに参加された皆さんの発表によって証明されることになるでしょう。

それでは、この自然や歴史は、誰によってもたらされたものなのでしょうか。

これらは、「ただそこに存在していた」ものではなく、これまで暮らしてきた人々が残したいと思い、手入れを続けてきたからこそ、今、存在しているのではないかと感じました。

「景観とはなにか」を、問い続けながらまち歩きをご一緒させていただきました。

その中で導き出した一つの答えが、今号のタイトルです。

これからは、先人の努力によって残されてきたものだけでなく、新たに作られ、今から残っていく「いせはらの景観」にも、再発見を求めていくことが必要なのだろうと考えました。

7月から行ってきた「景観まちづくり市民ワークショップ」も本日開催する成果発表会で一旦終了となります。

この夏の厳しい暑さの中、議論とまち歩きという、非常に重い課題にもかかわらず、ひるまず活動を続けてきた皆さんに感謝申し上げます。

今後も、さまざまテーマを設定し、この活動を続けていこうと考えています。

次の機会もまた、ご一緒できることを願っています。

ありがとうございました。

「景観まちづくり市民ワークショップ」開催の背景とその目的について

伊勢原市では、「景観まちづくり事業」を本格的にスタートしました。

景観まちづくりを進めていくには、多くの時間や多くの人の参加と協働が必要となります。

また、人から地域へ、地域から伊勢原市全体へとその取り組みを展開していく必要があります。

そのためには、景観まちづくりの重要な担い手である市民の皆さんの意見をお聴きしながら進めていくことが不可欠であると考えました。

このような考えから、「景観まちづくり市民ワークショップ」（以下ワークショップ）を開催することとなりました。

今回の活動成果は、伊勢原市景観条例・景観計画の策定における基礎調査として重要な役割を担っています。

担　都市総務課

ワークショップにお願いしたこと

ワークショップを進めていくに当たっては、皆さんへ次の３点に着目して活動をお願いしました。

1　伊勢原市の各地域における景観資源などを市民の皆さんのさまざまな視点から探し出す

2　探し出した景観資源などの保全や活用などによる、伊勢原市の景観まちづくりの方向性などについて話し合う

3　各グループの活動内容を発表会で報告する

こうして、7月31日から11月20日まで、4カ月間開催しました。

これまでの活動内容についてお知らせします。

第1回【7月31日】「伊勢原のまちの魅力を考える」

グループ討議にによる、伊勢原のまちの魅力の掘り起こしを行いました。伊勢原に多くある自然や歴史に彩られたまちの魅力が掘り起こされました。

第2回【8月21日】「まち歩きの準備をする」

各地区ごとにグループを分け、まち歩きのテーマやコース、何を見るかなどを考えました。

第3回【9月～10月】「まち歩きをする」

グループ毎にまち歩きを行い、伊勢原のまちの魅力などを写真に収め、記録していきました。

第4回【10月23日】「まち歩きの内容をまとめる」

グループ毎にまち歩きのまとめを行いました。地図などを作成し、ポイントやアイデアをまとめ発表資料を作りました。長塚市長も視察に訪れ、各グループが真剣に取り組む姿に感心し、期待を込めた挨拶を行っていました。

第5回【11月20日】「まとめた内容を発表する」

景観まちづくり市民フォーラムでグループ毎にまとめたリポートを発表します。

また、各グループの代表者によるパネルディスカッションでは、ワークショップの感想やこれからの伊勢原の景観について話し合います。

平成22年度伊勢原市　景観まちづくり事業の歩み

伊勢原市は、平成21年5月1日に景観法に基づく景観団体となり、景観まちづくりの新たな歩みを始めました。

平成22年度の主な取り組みを紹介します。

■いせはら小・中学生景観写真展

市内の小・中学生の皆さんに街並みや風景を撮影し、作品を応募していただきました。応募作品は49点。10月20日から11月3日まで写真展を行いました。

■景観まちづくり市民ワークショップ

公募市民39人が参加し、全5回開催。まち歩きや話合いを通して伊勢原の景観を考えました。公式の開催日だけでなく、グループごとに集まり発表に備えてきたという熱が入った素晴らしい活動となりました。

■市制40周年記念事業　いせはら景観写真展

伊勢原の景観の魅力を市民みんなで楽しみ、考えるという写真展です。12月15日まで作品を募集しています。ぜひ、作品お寄せください。